

CPD・専攻建築士制度 ニュースレター

2011/3/16
第1号 VOL.1

社団法人 日本建築士会連合会
CPD・専攻建築士制度運営委員会

発行:(社)日本建築士会連合会 CPD・専攻建築士制度運営委員会 委員長:高野 壽世
配信停止をご希望の場合は、「配信停止」と題名にご記入いただき、ご返信下さい。
このニュースレターは、2011.2.1の時点での希望者に配信しております。
ご質問等ある方は、下記アドレスまでご連絡下さい。
cpd@kenchikushikai.or.jp

目次

CPD 編

1. 新 CPD 制度の概要
2. CPD カード利用方法
3. システムログイン方法
4. 取得単位の確認方法
5. 実績証明書の取得方法
6. CPD 認定プログラムの探し方
7. 行政等の CPD 制度活用事例
8. 建築士総合研修 2011 年開催のお知らせ

専攻建築士編

1. 都道府県認定数
2. 専攻建築士活用事例

ニュースレター創刊にあたって

建築士会 CPD 制度に参加申込をいただき、メルマガ配信希望のご回答を頂いた CPD 会員あてに年間4回の配信を目標に創刊いたしました。CPD 制度・専攻建築士制度に関するその時々の情報を盛り込み、お伝えしていきたいと思っております。どうぞよろしくお願ひします。

CPD 制度

1. 新 CPD 制度の概要

建築士会では、建築士会会員の知識、技術、に関する研鑽と倫理観の醸成のために、平成 14 年、自主的に CPD 制度を始め、意欲的な会員の支持を得て、運営してきました。

平成 21 年 1 月 5 日施行の改正建築士法第 22 条の 4 の規定によりすべての建築士に対する研修を行うことが建築士会に義務付けられたことを受け、従来から行ってきました CPD 制度を大幅に改め、オープン化して非会員の方たちにも広く門戸を開くこととしました。

それは、CPD の実績データの行政機関での活用が、地方の建築工事での入札で広まっており、同じ施工現場で働く技術者として建築士にのみ CPD が提供されている現状や、一部の建築士会では県からの要請で「建築施工管理技士」にも CPD を提供していたことなどから、全ての建築技術者に建築士会 CPD を提供することに踏み切ることとしたものです。

新 CPD 制度では、これまでのシステムを一新し、より利便性の高い IC カードによる新システムを採用して、活用先の要望に応じて履修証明を容易に発行できるしくみとします。

2. CPD カードの利用方法

研修プログラム参加時に個人 ID(建築士登録番号ほか)の入った「CPD カード」を研修会場等に設置されたカードリーダーに読み込ませることで出席記録とすることができます。このことで、今までの CPD 手帳の提出が不要となり、CPD 情報システムを活用し、ネット上で自身の単位の取得状況が確認できるようになります。

3. CPD 情報システムへのログインの方法

はじめに、CPD 情報システムを活用し、ネット上でシステムを利用するためには、ID とパスワードを登録する必要があります。その手続は、以下の手順で行います。以下の URL から CPD 情報システムにアクセスしてください。

<https://kenchikushikai-cpd.jp/>

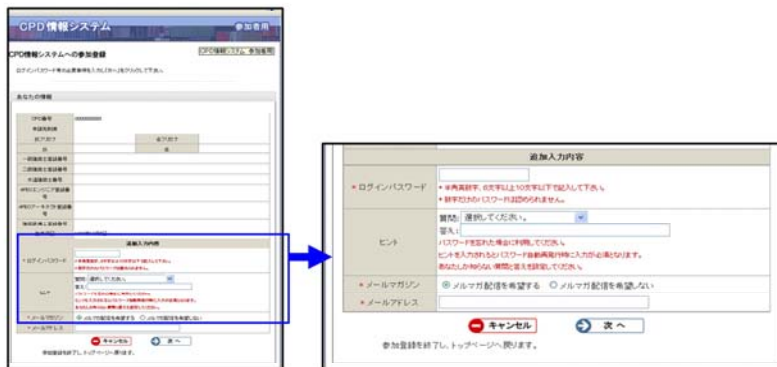
① 「参加者ログイン画面」の「参加登録」の文字をクリックし、「参加登録画面」に進みます。



② 「参加登録画面」CPD 番号と生年月日(西暦8桁/例:1960年10月5日の場合「19601005」)を入力しログインを押します。



③ サーバーに登録されている個人情報が表示され、画面下段の*のついている項目を入力します。



- ④ 今後、ご自身がこのシステムにログインするための「ログインパスワード」を半角英数字6文字以上10文字以下で自由に設定することができます。設定の手続きをさせていただかない場合は、事務局にて当初設定されたままの状態になります。
- ⑤ 「ヒント」欄は、入力不要です。必要があれば、入れてください。
- ⑥ 「メールマガジン」欄は、今後、CPDに関する情報の配信を希望しない場合には、「配信を希望しない」にチェックを入れてください。
- ⑦ 「メールアドレス」欄に、ご自身のメールアドレスを入力してください。ご指定のメールアドレスに「パスワード」のご連絡と「メールマガジン」の配信を行います。
- ⑧ 「次へ」を押すと入力内容の確認画面がでますので、よろしければ「登録する」を押してください。
- ⑨ 「参加登録が完了しました」の画面が表示され、終了です。

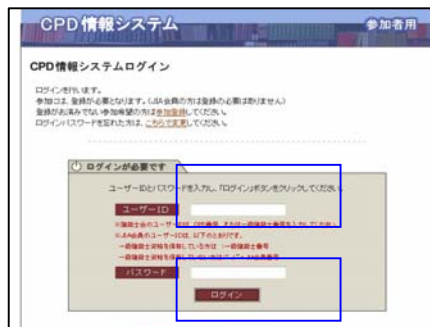


士会用メニューの欄の「取得単位確認」を押すと履修履歴と取得単位が確認できます。



4. 取得単位の確認および実績証明書印刷方法

「参加者用画面」のシステムログインを押します。
 「ユーザーID」と「パスワード」を入力し、「ログイン」ボタンをクリックして「参加者用」画面に入ります。「ユーザーID」の欄には、CPD番号を入力してください。
 「士会用メニュー」ボタンをクリックし、「取得単位数確認」ボタンをクリックしていただくと、現在の取得単位数が表示されます。



5. CPD 単位実績証明書の取得方法

表示された履修履歴の印刷欄にチェックを付与し、「次へ(印刷)」を押すと、個人毎のポートフォリオを作成することができます。
 ただし、実績証明書は士会事務局から交付を受けてください。

個人履修一覧

履修日時 (履修日)	プログラム名 (プログラム)	受講者 (個人ID)	状態	単位	単位
2017年6月1日	最高級研修会	00000001	Blue	1	1
2017年6月1日	最高級研修会	00000002	Blue	3	3
2017年6月1日	オンライン研修会(建築師向け)	00000003	Blue	3	3
2017年6月1日	オンライン研修会(建築師向け)	00000004	Blue	3	3
2017年6月1日	新入社員研修①	00000005	Blue	2	2
2017年6月1日	新入社員研修②	00000006	Blue	6	6
2017年6月1日	新入社員研修③	00000007	Blue	1	1
2017年6月1日	新入社員研修④	00000008	Blue	8	8

6. CPD 認定プログラムの探し方

認定された CPD プログラムは、インターネットに一覧表示されております。

「CPD 情報システム参加者用画面」→「認定プログラム一覧」→形態・分野・実施場所等を入力し、希望のセミナーや講習会を検索して下さい。

(https://jaeic-cpd.jp/cpd_prg_list.php)

7. 行政等の CPD 制度活用事例

進む建築士会 CPD の活用—福岡県建築士会:平成22年5月より福岡県にて工事入札での採用開始。都道府県での行政機関の発注入札等において「建築士会 CPD 実績」を加点の対象としている機関が増えています。一昨年13県、昨年23県から更に増え、現在、31県+19市+3町+国交省(平成23年1月連合会調べ)まで進んできた。今後、全ての都道府県での活用を目指します

8. 建築士総合研修／2011 年開催のお知らせ

建築士法第 22 条の 4 第 5 項に基づき、建築士会が取り組む人材教育のための基幹研修に位置づけられている研修です。

今年度より、テキストを従来の合本形式から、下記のコース別に分冊化することで、よりテーマを絞った学習をしやすく組み替えました。

開催情報は

http://www.kenchikushikai.or.jp/cpd-new/training-info/list_of_schedules.html でご確認ください。

すべての建築士のための総合研修各コース

- ①「戸建住宅」コース
- ②「集合住宅」コース
- ③「ビジネス(環境・エネルギー)」コース
- ④「法制度」コース
- ⑤「木造2階建住宅の構造計算」コース

(CPD 単位:時間×1)



1. 都道府県専攻建築士認定数

	まちづくり	統括設計	構造設計	設備設計	建築生産	棟梁	法令	教育	合計
北海道	14	220	28	4	143	1	21	2	433
青森県	8	114	9	1	60	2	2	2	198
岩手県	10	229	20	2	62	3	19	2	347
宮城県	8	203	18	4	106	7	11	5	362
秋田県	3	144	16	2	101		6		272
山形県	3	181	26	4	52	1	4	2	273
福島県	4	212	39	6	65	9	6	1	342
茨城県	3	33	9		9		1		55
栃木県	5	62	15		17	1	4	1	105
群馬県	9	185	34	5	70	5	20	5	333
埼玉県	5	92	41	2	29	2	3		174
千葉県	6	148	33	3	68	11	10	4	283
東京	157	1299	213	51	216	23	46	25	2030
神奈川県	37	369	73	16	128	6	42	5	676
山梨県	7	169	24		95	6	14	1	316
長野県	26	503	51	11	186	5	3	2	787
新潟県	12	249	43	3	74	13	13	4	411
静岡県	7	293	30	1	56	2	7	1	397
愛知県	9	484	68	5	137	3	16	4	726
岐阜県	6	212	20		64	3	17	3	325
三重県	6	173	22	4	68		9	1	283
富山県	8	150	34	3	54	7	11	1	268
石川県	6	113	9	5	83	8	26	1	251
福井県	3	123	13	1	49	4	4	1	198
滋賀県	6	37	6		11	2	5		67
京都府	5	74	10	1	20	4	1	3	118
大阪府	36	543	95	24	161	4	42	21	926
兵庫県	15	175	43		57	3	9	3	305
奈良県	2	148	18	3	56		5		232
和歌山県	10	94	38	3	27	1	8	1	182
鳥取県	4	127	33	2	48	3	1	2	220
島根県	25	211	25	5	109	4	30	1	410
岡山県	8	158	16	3	43	3	6	4	241
広島県	12	366	54	9	196	3	32	7	679
山口県	8	102	29	5	59	1	4	2	210
徳島県	5	59	14		20		1	2	101
香川県	1	92	7		48	2	2		152
愛媛県	3	65	12		49	1	6		136
高知県	1	135	22	4	42	4	1		209
福岡県	22	420	68	7	147	6	18	6	694
佐賀県	7	76	5		21		1	2	112
長崎県	7	105	22	1	41	2	7		185
熊本県	7	256	36	3	108	15	10	3	438
大分県	8	39	10		13	6	5	2	83
宮崎県	5	147	27	2	78		6		265
鹿児島県	19	239	22	1	91	4	25	5	406
沖縄県	4	169	41	2	42		9	2	269
合計	582	9797	1541	208	3479	190	549	139	16485

平成 22 年度前期までの認定評議会にて、累計 13, 500人を認定。
 平成 23 年度には、44建築士会において、約2, 000人の専攻建築士が更新時期を迎えます。

2. 専攻建築士活用事例

1) 行政での活用事例

愛媛県

愛媛県では、工事入札において配置予定技術者に専攻建築士が採用されており、生産専攻建築士(建築生産)は5点、その他の領域の専攻建築士は3点の配点評価です。

工事入札(総合評価方式)。配置予定技術者の評価項目において、「継続能力開発(CPD)の取り組み:評価内容(CPDの取得による専攻建築士登録)」

評価項目	評価内容	評価基準	配点
CPDの取 り組み	CPD の取得 による専攻建 築士登録	生産専攻建築士	5
		その他の専攻建築士	3
		登録なし	0

2) 佐賀大会専攻建築士制度活用事例コンペ入賞事例

社団法人福岡県建築士会福岡支部:「専攻建築士・CPDの周知活動」

平成 22 年 6 月 30 日(水)と 7 月 1 日(木)の二日間に渡り、アクロス福岡にて「エコと防災を考える展」というイベントを行った。

このイベントは 5 つのブースを設け、「建築士会の取り組み」というブースで、建築士会の取り組みや専攻建築士・CPDについてパネルやパンフレットを展示した。



社団法人 東京建築士会:「建築相談における会員名簿(CPD・専攻建築士制度登録者情報)活用」

「建物を調べてもらいたい」、「住宅を新築したいが信頼できる建築士を紹介してほしい」、「第三者として工事を見てくれる建築士を紹介してほしい」など、具体的に建築士を探している相談者は非常に多い。しかし、建築相談室では特定の建築士を紹介できないため、CPD・専攻建築士制度登録者を表示した本会会員名簿や専攻建築士ペーパー出力ファイルを備えて、来訪者がどなたにもご覧頂けるようにしています。(インターネット等ご利用できない方にも対応しています。)

(登録されている「専攻建築士」の詳細は、HP「建築士を探そう」netあるいは「CPD」「専攻建築士」検索システムをご覧頂くように案内しています。)

氏名	CPD 専攻	勤務先(電話)	業種	住所
安藤 一雄	C	横日光設計 03-3456-2050	e1	西東京市芝久保町
安美 哲夫	専	ロウ建築計画事務所 03-3202-1111	e1	立川市上杉町
阿部 直	専	大森建築本社 03-5770-1111	e4	板橋区大山町
阿部 光一	専	エービー建築設計室 03-5222-6051	99	千代田市美浜区高洲
阿木 真一	C	東京周縁 03-3859-1111	e5	新北区中井
奥木 工	専	樹生建築 03-3299-1111	e1	西東京市東町
足立 茂子	C	安達工務店 03-5271-1111	e8	世田谷区船橋
足立 伸行	C	足立研究所 03-1703-3811	e1	練馬区港北区大倉山
相川 雄一	専	穂本工務店 0424-76-2233	e3	練馬区南大泉
台川 剛	C	美幸地所 03-3287-4488	e2	墨田区小松原
長瀬 英也	専	阿部建築 03-3823-2111	e1	世田谷区上毛町

このたびの東北地方太平洋沖地震により被災されました会員およびご家族、関係者の皆様方には、謹んでお見舞いを申し上げますとともに、一日も早い復旧・復興をお祈り申し上げます。

(社)日本建築士会連合会といたしましても、被災地建築士会等との連絡を密にすると共に、情報を皆様と共有するように努めて参ります。また、出来る限りのご支援をして参りたく存じますので、各会員におかれましても何卒ご理解、ご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。